

2022年2月1日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

トルクシステム株式会社に投資実行

ニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区西新橋、取締役会長 安東 泰志、以下「NHC」）が管理運営する、ニューホライズン3号投資事業有限責任組合（以下総称して「弊社」）は本日付で、トルクシステム株式会社（本社 愛知県大府市、代表取締役 北原真一、以下「トルクシステム」）に対する投資を実行しましたのでお知らせします。

トルクシステムは、2002年の創業以来、大規模なプラントで使用される大口径のボルトを締め付ける特殊工具の販売・レンタルの事業を拡大し、同業界におけるシェア1位の地位を確立しています。全国の工業地域等に密着した拠点展開と、同業界において求められる商品を幅広く揃えることで、業界内でも厚い信頼を得ている企業であります。

わが国の大規模プラント業界は、再生可能エネルギーへの転換政策を背景に風力発電プラントやバイオマス発電プラント等の拡大が見込まれます。また、石油化学、一般化学、電力、鉄鋼業等の装置産業では、建設から数十年が経過したプラントや設備が増えており、故障や事故を回避しながら効率的に運営し計画的に設備を更新するため、保全・保守メンテナンスの必要性が増しています。この点、対象会社が取扱う商品は大規模プラントの施工、メンテナンスに必須の工具類であり、これらの商品と関連サービスの提供を通じて風力発電所等の環境プラント設備の拡大に貢献するとともに老朽化が進む既存プラントの保全に資するという点において弊社が本件投資を実行することの社会的意義があると考えます。

弊社は、対象会社の役員及び従業員との信頼関係をベースに、より長く安心して働けるような組織づくりや、ガバナンスの強化等に取り組み、全役職員と一丸となって同社の企業価値向上のために尽力する所存です。

なお、新組織体制としては、代表取締役の北原真一氏、専務取締役の林義秀氏は続投し、弊社から取締役数名及び監査役を派遣する予定です。

以上

〈ニューホライズン キャピタル株式会社〉

事業承継、カーブアウト、成長支援等のプロを多数擁する独立系 PE ファンド。2002 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から 2006 年 10 月の会社分割を経て通算 20 年の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,700 億円超）を誇る。現在は、NHC として 3 本目、創業から 9 本目のファンドを運営中。2002 年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとする NHC のチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iae ホールディングス、たち吉、武田産業、GENEROSITY、シバウラ防災製作所、川崎ホールディングス、昭和コーポレーション、かがやくコスメ、ウッドテック、NITTO、日本システムケア、平世美装、BIQREA ホールディングスなど、開示可能なエクイティー投資先だけで 約 50 社、全体では 100 社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先：

広報担当（IFC）竹江、高杉 連絡先：03-5532-8921